

新入生へ

学修案内

FMA

FMI

FMR

履修案内

生活案内

施設

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

キャンパス案内

第2章 学修案内

新入生へ
学修案内
F M A
F M I
F M R
履修案内
生活案内
施 設
学則・規程
沿 革
校歌・学生歌
キャンパス案内

新入生へ

学修案内

FMA

FMI

FMR

履修案内

生活案内

施設

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

キャンパス案内

未来科学研究科の教育

東京電機大学大学院

建学の精神 「実学尊重」

1907年（明治40年）の「電機学校設立趣意書」において、「工業は学術の応用が非常に重要だが、本学は学問としての技術の奥義を研究するのではなく、技術を通して社会貢献できる人材の育成を目指すために実物説明や実地演習、今日の実験や実習を重視し、独創的な実演室や教育用の実験装置を自作する等の充実に努めること」に基づき、「実学尊重」を建学の精神として掲げました。

教育・研究理念 「技術は人なり」

1949年（昭和24年）の東京電機大学設立時において、初代学長の丹羽保次郎（にわ やすじろう）先生は、「よい機械を作るにはよい技術者でなければならない」すなわち、「立派な技術者になるには、人として立派でなければならない」という考え方に基づいた「技術は人なり」を教育・研究理念として掲げました。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

修士課程：所定の期間在学し（※）、必要な単位を修得し、次の学修成果を上げた者に修士の学位を授与します。

- (1) 専門分野の先端的知識および関連分野の基礎知識をもつこと。
- (2) 与えられた基礎的問題（または課題）を解決し、それを発表できる能力をもつこと。
- (3) 成果を論文（または作品）としてまとめ、審査に合格すること。

博士課程：所定の期間在学し（※）、必要な単位を修得し、次の学修成果を上げた者に博士の学位を授与します。

- (1) 広範で高度な先端的知識を有すること。
- (2) 専門性が要求される問題を自立的に発見解決し、国際的な場において発表・討論できる能力をもつこと。
- (3) 研究成果を博士論文としてまとめ、審査に合格すること。

※標準修業年限は、修士課程は2年、博士課程（後期）は3年。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

修士課程では、各研究科、専攻の教育研究理念に沿って、
コースワークとして、

- (1) 専門分野の先端的知識を身に付ける科目
 - (2) 幅広い知識と判断力、思考力、表現力を身に付ける科目
- リサーチワークとして、
- (3) 専門分野の最先端の知識に基づいた課題解決能力を身に付ける科目
 - (4) 成果を論文（または作品）としてまとめ、また、それを発表する能力を身に付ける科目
- を体系的に配置します。

博士課程では、各研究科、専攻の教育研究理念に沿って、
コースワークとして、

- (1) 高度で広範な先端的知識を身に付け、社会が直面する問題を洞察する力を涵養する科目
 - (2) 国際的な場において発表・討論するための能力を涵養する科目
- リサーチワークとして、
- (3) 専門性が要求される問題を自立的に発見解決するための能力を培う科目
 - (4) 研究を実践し、その成果を博士論文としてまとめる能力を培う科目
- を体系的に配置します。

新入生へ
学修案内
F M A
F M I
F M R
履修案内
生活案内
施設
学則・規程
沿革
校歌・学生歌
キャンパス案内

未来科学研究科

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

未来科学研究科は、学部教育で培った科学技術に関する知識をさらに発展させて、人類の知的生産活動を促進する生活空間（知的住空間、知的情報空間、知的行動空間）を創生する科学技術の開発及びそれを発展する能力を修得させることを目的とします。

すなわち、人の生活空間環境の発展と維持に、科学技術を適用しかつ共生させることができる、幅広い視野と時代の方向性を見通す先見性と創造性を有する高度専門科学技術者を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

未来科学研究科は、本研究科に所定の期間在学し（※）、以下のすべてを満たした者を、人の生活空間環境の発展と維持に、科学技術を適用し、かつ共生させることができる、幅広い視野と時代の方向性を見通す先見性及び創造性を有する高度専門科学技術者と認定し、修士（工学）の学位を授与します。

- (1) 本学の建学の精神「実学尊重」と教育・研究理念「技術は人なり」に基づく、本研究科の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に沿って編成した教育課程から、必要な単位を修得すること。
- (2) 論文審査（専攻により、論文審査に代わる特定の課題についての成果物の審査）に合格すること。

※標準修業年限は2年。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

未来科学研究科は、基礎となる未来科学部の教育研究と整合性・連携性を図っており、学部から大学院修士課程まで一貫性のあるカリキュラム編成を柱とします。

高い基礎学力と専門分野の高度な知識、かつ社会で即戦力として期待される高い専門性を有する能力を培うために、専攻の専門領域科目に加えて、研究・実習科目及びインターンシップ科目を体系的かつ効果的に配置し、「プロの能力」を有する人材を養成します。

さらに、未来の生活空間（知的住空間、知的情報空間、知的行動空間）の創生に必要な、異分野の技術の知識を身につけるために、3専攻（建築学、情報メディア学、ロボット・メカトロニクス学）の分野が融合する学際性を涵養する科目、国際性とバランス感覚を涵養する科目を配置し、「豊かな教養」を有する人材を養成します。

以上の考えに基づき、教育課程を編成し、実施します。

各専攻の目的、方針、
授業科目配当表及び
研究指導教員等の専門分野と
指導研究テーマ

新入生へ

学修案内

FMA

FMI

FMR

履修案内

生活案内

施設

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

キャンパス案内

新入生へ
学修案内
F M A
F M I
F M R
履修案内
生活案内
施 設
学則・規程
沿 革
校歌 学生歌
キャンパス案内

建築学専攻

Architecture and Building Engineering

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

授業科目配当表

カリキュラムマップ

研究指導教員等の専門分野と指導研究テーマ

建築学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

建築学専攻は、学部教育で培った建築技術に関する知識をさらに発展させて、人類の知的住空間を創生する科学技術の開発及びそれを展開する能力を修得させることを目的とします。

すなわち、建築学の「建築計画・意匠」「建築構造・情報」「建築環境・設備」部門の創造性を有する高度専門科学技術者を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

未来科学研究科の建築学専攻は、本研究科の学位授与方針をもとに、本専攻に所定の期間在学し（※）、以下のすべてを満たした者を、建築学の「建築計画・意匠」「建築構造・情報」「建築環境・設備」部門の創造性を有する高度専門科学技術者・設計者・研究者と認定し、修士（工学）の学位を授与します。

- (1) 本研究科の教育理念「プロの能力、豊かな教養」に基づく、本専攻の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に沿って編成された教育課程から、必要な単位を修得すること。（DP1）
- (2) 論文審査（論文審査に代わる特定の課題についての成果物の審査）に合格すること。（DP2）

※標準修業年限は2年。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

未来科学研究科の建築学専攻は、問題を発見・認識・解決できる統合力を身につけさせるために、高度で専門な研究・設計能力を培う科目とインターンシップ等の実学を柱とします。

学生は、専門分野の研究と設計を通して、課題を探求することでものづくりの本質を知り、同時に、インターンシップ等により社会との接点を学び、コミュニケーション能力、協働する力を身につけます。また、海外との授業及び研究の交流を通して国際性を身につけます。

こうした高度な専門性と、それを社会に役立てることができる素養を身につけるための教育課程を編成し、実施します。

分野	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	備考	教職	建築士			
		2019	2020								形態	意匠	設備	構造
専門研究	建築学特別設計Ⅰ	随時	随時	1	2	選(※)	1	通年	修士課程を修了するためには、「高度専門プログラム(研究コース)」又は「職能教育プログラム(スタジオコース)」のいずれかを択一必修として、履修、合格しなければならない。入学時に決定したプログラム(コース)は、在学中変更できない。					
	建築学特別設計Ⅱ	随時	随時	1	2	選(※)	2	通年						
	建築学特別研究Ⅰ	随時	随時	2	4	選(※)	1	通年	※高度専門プログラム(研究コース)履修者は「建築学特別研究Ⅰ・Ⅱ」の修得が必要である。また、「建築学特別設計Ⅰ・Ⅱ」は履修できない。					
	建築学特別研究Ⅱ	随時	随時	2	4	選(※)	2	通年	※職能教育プログラム(スタジオコース)履修者は「建築学特別設計Ⅰ・Ⅱ」の修得が必要である。また、「建築学特別研究Ⅰ・Ⅱ」は履修できない。					
空間 デザイン	建築空間デザイン論		○●	1	2	選	1・2	半期(前)		工業	開講	○	○	
	建築形態論	●		1	2	選	1・2	半期(後)	公開科目	工業	開講	○		
	都市デザイン論	○●	○●	1	2	選	1・2	半期(前)	公開科目	工業	開講	○		
	地域施設計画論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		工業	開講	○		
	近代建築論	○		1	2	選	1・2	半期(後)		工業	開講	○		
工学 デザイン	建築鋼構造論	○		1	2	選	1・2	半期(前)			開講			○
	建築ハイブリッド構造論	○		1	2	選	1・2	半期(前)		工業	開講			○
	建築構造設計論		●	1	2	選	1・2	半期(前)		工業	開講			○
	コンピューターによる骨組解析論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)			開講			○
	建築環境形成技術論		○●	1	2	選	1・2	半期(後)		工業	開講			○
専攻 共通科目	建築環境心理生理		●	1	2	選	1・2	半期(前)	公開科目	工業	開講	○	○	
	建築環境形成論	○●		1	2	選	1・2	半期(後)		工業	開講		○	
	建築生産論		○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業	開講	○	○	
	コンピューターデザイン論	○		1	2	選	1・2	半期(前)		工業	開講			○
	建築防災工学論	●		1	2	選	1・2	半期(後)			開講			○
	安全建築都市システム論	○		1	2	選	1・2	半期(後)			開講	○	○	
	構造デザイン認識論		○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業	開講			○
	統計解析法	●		1	2	選	1・2	半期(後)						
	建築学実習Ⅰ	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(前)		工業	イン	○	○	○
	建築学実習Ⅱ	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(後)	※職能教育プログラム(スタジオコース)履修者は「建築学実習Ⅰ～Ⅲ」を履修、合格しなければならない。	工業	イン	○	○	○
	建築学実習Ⅲ	●	●	2	2(※)	選	1・2	半期(前)	※高度専門プログラム(研究コース)履修者は「建築学実習Ⅰ～Ⅳ」が履修可能。		イン	○	○	○
	建築学実習Ⅳ	●	●	2	2	選	1・2	半期(後)		工業	イン	○	○	○
	建築技術・知識演習Ⅰ	○	○	1	2	選	1	半期(前)		工業	開演	○	○	○
建築技術・知識演習Ⅱ	●	●	1	2	必	1	半期(後)	在学中に2級建築士を取得した場合は、「建築技術・知識演習Ⅱ」の単位を認定する。	工業	開演	○	○	○	
建築技術・知識演習Ⅲ	○	○	1	2	選	2	半期(前)		工業	開演	○	○	○	

新人生へ

学修案内

FMA

FMI

FMR

履修案内

生活案内

施設

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

キャンパス案内

分野	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	備考	教職	建築士			
		2019	2020								形態	意匠	設備	構造
専攻 共通科目	インターンシップV	○	○	随時	2	選	1	四半期(前前) 四半期(後前)	「インターンシップV～X」および「建築学専門研修I・II」の中から2科目以上必ず修得すること。 〔一級建築士受験資格要件の実務経験2年を取得する場合は、「インターンシップV～X」および「建築学実習I～IV」の中から計14単位以上修得する必要がある。詳細は、(14.一級建築士受験資格要件)にて確認のこと。〕	イン	○	○	○	
	インターンシップVI	○	○	随時	2	選	1	四半期(前後) 四半期(後後)		イン	○	○	○	
	インターンシップVII	○	○	随時	4	選	1	四半期(後前)		イン	○	○	○	
	インターンシップVIII	○	○	随時	4	選	1	四半期(後後)		イン	○	○	○	
	インターンシップIX	○	○	随時	4	選	2	四半期(前前)		イン	○	○	○	
	インターンシップX	○	○	随時	4	選	2	四半期(前後)		イン	○	○	○	
	建築学専門研修I	●	●	随時	2	選	1・2	半期(前)						
	建築学専門研修II	●	●	随時	2	選	1・2	半期(後)						
	建築設計国際実習	○	○	集中	2	選	1	通年		「建築設計国際実習」は、集中講義で開講	イン	○		
「豊かな 教養」 科目	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	公開科目					
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	公開科目					
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)						
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)						
研究科 共通科目	科学英語I	○	○	集中	2	選	1・2	集中	コロラド大学英語短期研修 専攻主任が担当する					
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	1年生のみ履修可能					
	MOT 概論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	e-campus 科目のため、理工学研究科授業時間に 合わせて開講					
	融合技術戦略特論	○		1	2	選	1・2	半期(前)	「融合技術戦略特論」は、集中講義で開講					
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)						

注1) 開講区分欄 「●○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講
 注2) イン…インターンシップ科目(実務経験2年の場合は14単位以上、実務経験1年の場合は4単位以上修得のこと)。
 開演…インターンシップ関連演習科目(上限8単位)
 開講…インターンシップ関連講義科目(上限8単位)
 注3) 「公開科目」は、本学大学院生以外の一般社会人向けに受講生募集を行っている科目。

2019 年度カリキュラム

建築学専攻 修士課程 カリキュラムマップ

	分野	1 年				2 年								
		前期		後期		前期		後期						
専門性の涵養	専門研究	建築学特別設計 I ①				2 建築学特別設計 II ①				2				
		建築学特別研究 I ①				4 建築学特別研究 II ①				4				
	空間デザイン	都市デザイン論③	2	建築形態論③	2	建築空間デザイン論 ③	2							
		地域施設計画論③	2	近代建築論③	2	都市デザイン論③	2	地域施設計画論③	2					
工学デザイン	建築鋼構造論③	2			建築構造設計論③	2	建築環境形成技術論 ③	2						
	建築ハイブリッド構造論③	2			コンピューターによる骨組解析論③	2								
	コンピューターによる骨組解析論③	2												
キャリア形成	専攻共通科目 <注 2> インターンシップV～Xは全て ①：インターンシップ科目	建築学実習 I ①		2	建築学実習 II ①		2	建築学実習 I ①		2	建築学実習 II ①		2	
		建築学実習 III ①		2	建築学実習 IV ①		2	建築学実習 III ①		2	建築学実習 IV ①		2	
		建築技術・知識演習 I ②		2	建築技術・知識演習 II ②		2	建築技術・知識演習 III ②		2				
		インターンシップV	2	インターンシップVI	2	インターンシップV	2	インターンシップVI	2	インターンシップIX	2	インターンシップX	2	
学際性の涵養	「豊かな教養」科目	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法		2	デジタル放送論		2	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法		2	デジタル放送論		2	
		IT とビジネスモデル A		2	IT とビジネスモデル B		2	IT とビジネスモデル A		2	IT とビジネスモデル B		2	
		科学英語 I (集中)				2	科学英語 I (集中)				2			
国際性の涵養	研究科共通科目	Practical English for Global Engineers (集中)				2								
					MOT 概論		2				MOT 概論		2	
		融合技術戦略特論 (集中)		2										
倫理観の涵養	研究科共通科目	研究者倫理		2										

※ 2 年次科目で、網掛けの科目は、1・2 年配当、毎年開講科目

※ 科目毎の一級建築士実務経験に係る単位認定との対応状況については、科目配当表に記載

※ ①はリサーチワーク科目、それ以外はコースワーク科目。

新入生へ
学修案内
FMA
FM
FMR
履修案内
生活案内
施設
学則・規程
沿革
校歌・学生歌
キャンパス案内

研究指導教員等の専門分野と指導研究テーマ

《建築学専攻》

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
秋田 剛 ☆ 1号館 10703B (3314)	<ul style="list-style-type: none"> 音環境 環境心理生理 	<ul style="list-style-type: none"> サウンドスケープの記述・評価手法の確立とそのデザインへの応用 楽器演奏者の環境認知と行動制御 可搬型・可変式音響空間の創造 注意・複数感覚・複数情報源の視点からの環境知覚現象の解明
朝川 剛 1号館 10712B (3307)	<ul style="list-style-type: none"> 建築構造設計 木質構造 軽量構造 免震・制振構造 	<ul style="list-style-type: none"> 集成材内に鉄骨を挿入したハイブリッド断面部材の研究 CLT (Cross Laminated Timber) と一般製材もしくは集成材を組合わせた床版の研究 変位制御型ブレースの実用に向けた研究 災害時のレジリエンスの具体化に関する研究
朝山 秀一 1号館 10716B (3308)	<ul style="list-style-type: none"> 建築振動学 建築分野へのコンピュータ応用 	<ul style="list-style-type: none"> 建築構造物の地震応答 自然の形態システムを用いた空間構造 フラクタル理論を応用した建築骨組 複雑系としての建築要素の配置シミュレーション アルゴリズムミックデザイン
小笠原 正豊 1号館 11415A (3322)	<ul style="list-style-type: none"> 建築設計 建築構工法 	<ul style="list-style-type: none"> BIMに関する研究 設計プロセスの国際比較研究 構法・工法に関する研究
笹谷 真通 1号館 10713B (3302)	<ul style="list-style-type: none"> 建築ハイブリッド構造 耐震設計 構造計画 	<ul style="list-style-type: none"> 異種材料を組み合わせた建築ハイブリッド構造の力学的性状に関する実験的研究および構造解析 異種材料を組み合わせた建築ハイブリッド構造の構造設計への適用性に関する研究 木と鋼を用いたハイブリッド構造の各種部材の力学的性状に関する研究 ガラス素材を用いた建築外装の力学的性能に関する実験的研究

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
土田 寛 1号館 10704B (3312)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市デザイン ・プロジェクトデザイン ・景観デザイン ・都市計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトデザインに関するプロセスの構築とコンセンサスの形成 ・地域文脈の解析（地域資源の発掘と意味づけ）と地域整備コンセプトの形成 ・都市のかたちと都市計画（形態規制とコントロール）・ランドデザインとの関係 ・パブリックスペースに内在する空間構成（機能・用途別）把握と社会的行動
積田 洋 1号館 10701B (3339)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築計画 ・空間計画 ・設計計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・街路・都市景観の研究 ・建築ファサードの構成の研究 ・複合建築の空間構成の研究 ・建築の外部空間構成の研究 ・消防庁舎の建築計画の研究 ・建築遺構に関する研究
能作文 徳 1号館 11417A (3320)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設計 ・建築意匠 	<ul style="list-style-type: none"> ・建築のエコロジカルデザインの研究 ・建築エレメント・タイポロジーの研究 ・空き家の再資源化の研究 ・食に関わる都市 commons の研究 ・建築の物質・エネルギー循環の研究
日野 雅 司 1号館 11415B (3317)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設計 ・建築意匠 ・建築計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市の公共空間の研究 ・建築空間の構造と形態に関する研究 ・建築設計プロセスの研究
宮崎 桂 5号館 51104A (3912)	<ul style="list-style-type: none"> ・位相幾何学 ・結び目理論 	
百田 真 史 1号館 10614A (3321)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築環境工学 ・建築設備 	<ul style="list-style-type: none"> ・空調システムの省エネルギー化に関する研究 ・業務用建築物の設備設計手法
山田 あすか 1号館 10705B (3311)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築計画 ・環境行動 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉・教育のための建築の空間構成や人々の行動特性に関する研究 ・環境づくりの方法・意義の検証と普及に関する研究 ・こどもや高齢者・障がいのある人の生活の場としての都市環境のあり方に関する研究

新人生へ
学修案内
FMA
FMI
FMR
履修案内
生活案内
施設
学則・規程
沿革
校歌・学生歌
キャンパス案内

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
横手義洋 1号館 10707B (3338)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築史 ・建築保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的建造物の活用 ・西洋建築史・近代建築史研究 ・建築美学／建築論

☆：専攻主任

※客員教授：山内 泰之

情報メディア学専攻

Information Systems and Multimedia Design

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

授業科目配当表

カリキュラムマップ

研究指導教員等の専門分野と指導研究テーマ

情報メディア学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

情報メディア学専攻は、学部教育で培った情報メディア技術に関する知識をさらに発展させて、人類の知的情報空間を創生する情報メディア工学に関する科学技術の開発及びそれを展開する能力を修得させることを目的とします。

すなわち、情報メディア学の「メディアデザイン」「ヒューマンコンピュータインタラクション」「ネットワークコンピューティング」部門の創造性を有する高度科学技術者を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

未来科学研究科の情報メディア学専攻は、本研究科の学位授与方針をもとに、本専攻に所定の期間在学し（※）、以下のすべてを満たした者を、情報メディア学の「メディアデザイン」「ヒューマンコンピュータインタラクション」「ネットワークコンピューティング」部門の創造性を有する高度専門科学技術者と認定し、修士（工学）の学位を授与します。

- (1) 本研究科の教育理念「プロの能力、豊かな教養」に基づく、本専攻の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に沿って編成された教育課程から、必要な単位を修得すること。（DP1）
- (2) 論文審査（論文審査に代わる特定の課題についての成果物の審査）に合格すること。（DP2）

※標準修業年限は2年。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

未来科学研究科の情報メディア学専攻は、基礎となる未来科学部の教育研究と整合性・連携性を図り、学部から大学院修士課程まで一貫性のあるカリキュラム編成を柱とします。

高い基礎学力と専門分野の高度な知識、かつ社会で即戦力として期待される高い専門性を有する能力を培うために、情報メディア学の「メディアデザイン」「ヒューマンコンピュータインタラクション」「ネットワークコンピューティング」部門に関する専門領域科目に加えて、研究・実習科目及びインターンシップ科目を体系的かつ効果的に配置し、「プロの能力」を養成します。

さらに、未来の生活空間（知的住空間、知的情報空間、知的行動空間）の創生に必要な、異分野の技術の知識を身につけるために、3専攻（建築学、情報メディア学、ロボット・メカトロニクス学）の分野が融合する学際性を涵養する科目、国際性とバランス感覚を涵養する科目を配置し、「豊かな教養」を有する人材を養成します。

以上の考えに基づき、教育課程を編成し、実施します。

区分	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必選自	配当年	配当期	備考	教職
		2019	2020							
専門研究	情報メディア学特別演習 I A	随時	随時	2	2	必	1	半期(前)		
	情報メディア学特別演習 I B	随時	随時	2	2	必	1	半期(後)		
	情報メディア学特別演習 II A	随時	随時	2	2	必	2	半期(前)		
	情報メディア学特別演習 II B	随時	随時	2	2	必	2	半期(後)		
	情報メディア学特別研究 I A	随時	随時	2	2	必	1	半期(前)		
	情報メディア学特別研究 I B	随時	随時	2	2	必	1	半期(後)		
	情報メディア学特別研究 II A	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(前)	※高度専門プログラム履修者は「情報メディア学特別研究 II A」と「情報メディア学特別研究 II B」の履修が必要である。	
	情報メディア学特別研究 II B	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(後)		
	情報メディア学特別制作 A	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(前)	※職能教育プログラム履修者は「情報メディア学特別制作 A」と「情報メディア学特別制作 B」の履修が必要である。	
	情報メディア学特別制作 B	随時	随時	2	2	選(※)	2	半期(後)		
メディア	音メディア特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	コンピュータグラフィックス特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(後)	公開科目	情報
	ビジュアルコンピューティング特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	メディア応用特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	言語メディア特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		情報
	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	公開科目	情報
	共創・デザイン特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	ユーザビリティと心理学	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		情報
	インタラクティブCG特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
情報	人間情報システム特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)		情報
	ビジネス情報システム特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)		情報
	ソフトウェアアーキテクチャ特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)	公開科目	情報
	データベース特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	IoT特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	2019年度新設	
	デジタル・フォレンジック	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)		情報
	サイバーセキュリティ基盤 I	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	サイバーセキュリティ基盤 II	○	○	1	2	自	1・2	半期(前)	集中講義形式	情報
	知的計算システム特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	オペレーティングシステム特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		情報
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	公開科目	
	情報セキュリティマネジメントとガバナンス	●	●	1	2	自	1・2	半期(後)		
	セキュアシステム設計・開発	○	○	1	2	自	1・2	半期(後)	集中講義形式	
サイバーディフェンス実践演習	○	○	1	2	自	1・2	半期(前)	集中講義形式		
専攻 共通科目	インターンシップ	○	○	随時	2	選	1・2	随時		
	IT最前線	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		
「豊かな 教養」 科目	安全建築都市システム論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		
	ITとビジネスモデル A	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		
	ITとビジネスモデル B	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		
研究科 共通科目	科学英語 I	○	○	集中	2	選	1・2	集中	コロラド大学英語短期研修 専攻主任が担当する	
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	1年生のみ履修可能	
	MOT概論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	e-campus科目のため、理工学研究科授業時間に合わせて開講	
	融合技術戦略特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	「融合技術戦略特論」は、集中講義で開講	
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)		

※ 修士課程を修了するためには、「高度専門プログラム」または「職能教育プログラム」のいずれかを択一必修として、履修合格しなければならない。
 注1) 開講区分欄 「○」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講
 注2) 「公開科目」は、本学大学院生以外の一般社会人向けに受講生募集を行っている科目。

新入生へ
 学修案内
 FMA
 FMI
 FMR
 履修案内
 生活案内
 施設
 学則・規程
 沿革
 校歌・学生歌
 キャンパス案内

2019年度カリキュラム

情報メディア学専攻 修士課程 カリキュラムマップ

		1年		2年					
		前期	後期	前期	後期				
専門性の涵養	専門研究	情報メディア学特別演習ⅠA①	2	情報メディア学特別演習ⅠB①	2	情報メディア学特別演習ⅡA①	2	情報メディア学特別演習ⅡB①	2
		情報メディア学特別研究ⅠA①	2	情報メディア学特別研究ⅠB①	2	情報メディア学特別研究ⅡA①	2	情報メディア学特別研究ⅡB①	2
	メディア	音メディア特論	2	コンピュータグラフィック特論	2	音メディア特論	2	コンピュータグラフィック特論	2
		ビジュアルコンピューティング特論	2	言語メディア特論	2	ビジュアルコンピューティング特論	2	言語メディア特論	2
		メディア応用特論	2	デジタル放送論	2	メディア応用特論	2	デジタル放送論	2
		共創・デザイン特論	2	ユーザビリティと心理学	2	共創・デザイン特論	2	ユーザビリティと心理学	2
		インタラクティブCG特論	2		2	インタラクティブCG特論	2		2
	情報	データベース特論	2	人間情報システム特論	2	データベース特論	2	人間情報システム特論	2
		サイバーセキュリティ基盤Ⅰ	2	ビジネス情報システム特論	2	サイバーセキュリティ基盤Ⅰ	2	ビジネス情報システム特論	2
		サイバーセキュリティ基盤Ⅱ	2	ソフトウェアアーキテクチャ特論	2	サイバーセキュリティ基盤Ⅱ	2	ソフトウェアアーキテクチャ特論	2
オペレーティングシステム特論		2	デジタル・フォレンジック	2	オペレーティングシステム特論	2	デジタル・フォレンジック	2	
セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法		2	情報セキュリティマネジメントとガバナンス	2	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	2	情報セキュリティマネジメントとガバナンス	2	
サイバーディフェンス実践演習(集中)		2	セキュアシステム設計・開発(集中)	2	サイバーディフェンス実践演習(集中)	2	セキュアシステム設計・開発(集中)	2	
知的計算システム特論		2		2	知的計算システム特論	2		2	
IoT特論		2		2	IoT特論	2		2	
キャリア形成	専攻共通科目	インターンシップ		2	インターンシップ		2		
		IT最前線	2		2	IT最前線	2		
学際性の涵養	「豊かな教養」科目	ITとビジネスモデルA	2	ITとビジネスモデルB	2	ITとビジネスモデルA	2	ITとビジネスモデルB	2
			2	安全建築都市システム論	2		2		2
国際性の涵養	研究科共通科目	科学英語Ⅰ(集中)		2	科学英語Ⅰ(集中)		2		
		Practical English for Global Engineers(集中)		2			2		
			MOT概論	2		MOT概論	2		
		融合技術戦略特論(集中)	2						
倫理観の涵養	研究科共通科目	研究者倫理	2						

※2年次科目で、網掛けの科目は、1・2年配当、毎年開講科目

※①はリサーチワーク科目、それ以外はコースワーク科目。

研究指導教員等の専門分野と指導研究テーマ

《情報メディア学専攻》

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
岩井将行 1号館 11107A (2817)	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT ・センサネットワーク ・スマートスペース 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユビキタスコンピューティング ・時空間・時系列データ処理 ・クラウドソーシング技術 ・モバイルコンピューティング技術 ・防災センサネットワーク
大野誠寛 1号館 11102A (2810)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然言語処理 ・話し言葉処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・書き言葉・話し言葉の解析 ・テキスト作成支援 ・音声対話技術
小坂直敏 ☆ 1号館 11103A (2804)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ音楽 ・音声表現・合成・加工 	<ul style="list-style-type: none"> ・信号モデルによる音声・楽音の合成・加工方式 ・コンピュータ音楽制作のための音合成システム ・作曲支援システム ・コンピュータ音楽制作
川澄正史 1号館 11103B (2806)	<ul style="list-style-type: none"> ・生体情報解析 ・アクセシビリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション支援技術 ・視覚情報処理 ・歩行解析 ・生体情報のセンシング技術と応用
齊藤剛 5号館 50717B (2415)	<ul style="list-style-type: none"> ・形状処理 ・コンピュータグラフィックス 	<ul style="list-style-type: none"> ・意匠形状の特徴解析と創成 ・モーションデータの解析と特徴表示 ・実環境と仮想空間の融合
佐々木良一 5号館 51206 (6392)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス対策・不正侵入防止技術 ・デジタルデータの証拠性保全技術 ・ITリスクコミュニケーション技術
高橋時市郎 1号館 11106A (2808)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータグラフィックス ・アニメーション・可視化 ・画像処理・パターン認識 ・学習科学 	<ul style="list-style-type: none"> ・写实的・非写实的な映像生成技術 ・リアルタイム・インタラクティブ・CG技術 ・3DCGによる都市景観・江戸の町並み復元技術 ・学習履歴・Web閲覧履歴の可視化技術
鉄谷信二 1号館 11405A (2802)	<ul style="list-style-type: none"> ・映像評価 ・臨場感 ・視覚心理 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像コンテンツのための評価法 ・五感を利用した臨場感再現技術 ・視覚心理
寺田真敏 1号館 11404B (2818)	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークセキュリティ ・情報セキュリティ 	<ul style="list-style-type: none"> ・暗号理論とその高速実装 ・マルウェア、サイバー攻撃に関する解析 ・IoTとネットワークセキュリティ技術 ・脆弱性対策とインシデント対応支援技術

新入生へ

学修案内

FMA

FMI

FMR

履修案内

生活案内

施設

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

キャンパス案内

新入生へ
学修案内
FMA
FM1
FMR
履修案内
生活案内
施設
学則・規程
沿革
校歌・学生歌
キャンパス案内

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
中島 克人 1号館 11104B (2812)	<ul style="list-style-type: none"> ・知的計算システム ・画像認識 ・画像処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像・映像からの物体検出・識別 ・深層学習を用いた画像生成・修復 ・行動解析、AR 向け空間計測
増田 英孝 1号館 11104A (2815)	<ul style="list-style-type: none"> ・Web 情報検索 ・ソーシャルメディア ・インタラクティブシステム ・オブジェクト指向技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・Twitter の解析と情報抽出 ・Wikipedia の解析と情報抽出 ・図書館における自動レファレンスサービス ・Web からの動向情報の抽出と可視化
森谷 友昭 1号館 11106B (2823)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータグラフィックス ・画像処理 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材等の経年変化シミュレーション ・GPU を活用した実時間 CG ・静止画上的動き表現
矢島 敬士 1号館 11105A (2809)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム ・知識管理 ・意思決定支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉介護トータルシステムにおける情報共有、意思決定支援技術 ・集団意思決定支援システム ・モチベーション管理技術 ・医療等における非定型業務の生産性向上

☆：専攻主任

ロボット・メカトロニクス学専攻

Robotics and Mechatronics

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

授業科目配当表

カリキュラムマップ

研究指導教員等の専門分野と指導研究テーマ

新入生へ
学修案内
FMA
FM1
FR
履修案内
生活案内
施設
学則規程
沿革
校歌 学生歌
キャンパス案内

ロボット・メカトロニクス学専攻

人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的

ロボット・メカトロニクス学専攻は、学部教育で培ったメカトロニクス技術に関する知識をさらに発展させて、人類の知的行動空間を創生するロボット・メカトロニクス工学に関する科学技術の開発及びそれを発展する能力を修得させることを目的とします。

すなわち、ロボット・メカトロニクス学の「電気電子工学」「機械工学」「情報工学」「コンピュータ工学」「制御工学」部門の創造性を有する高度科学技術者を養成します。

学位授与の方針（ディプロマポリシー）

未来科学研究科のロボット・メカトロニクス学専攻は、本研究科の学位授与方針をもとに、本専攻に所定の期間在学し（※）、以下のすべてを満たした者を、ロボット・メカトロニクス学の「電気電子工学」「機械工学」「情報工学」「コンピュータ工学」「制御工学」部門の基盤技術を相乗的に統合する創造性を有する高度専門科学技術者と認定し、修士（工学）の学位を授与します。

- (1) 本研究科の教育理念「プロの能力、豊かな教養」に基づく、本専攻の「人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的」に沿って編成された教育課程から、必要な単位を修得すること。（DP1）
- (2) 論文審査に合格すること。（DP2）

※標準修業年限は2年。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

未来科学研究科のロボット・メカトロニクス学専攻は、集団指導体制のもと、専門分野のみに特化することなく分野を横断し、常に新しい領域に挑戦する気概を持った国際性豊かな人材を養成する教育課程編成を柱とします。

具体的には、日常生活、医療、福祉、防災などの分野において有用な、ロボット工学やメカトロニクス学に関する技術の開発と、社会への応用展開を担う人材を養成する教育課程を編成し、実施します。

区分	科目名	開講年度 開講区分		コマ	単位数	必修 選択	配当年	配当期	備考	教職
		2019	2020							
専門研究	ロボット・メカトロニクス学特別研究Ⅰ	随時	随時	2	4	必	1	通年		
	ロボット・メカトロニクス学特別研究Ⅱ	随時	随時	2	4	必	2	通年		
	特別輪講ⅠA	随時	随時	1	1	必	1	半期(前)		
	特別輪講ⅠB	随時	随時	1	1	必	1	半期(後)		
	特別輪講ⅡA	随時	随時	1	1	必	2	半期(前)		
	特別輪講ⅡB	随時	随時	1	1	必	2	半期(後)		
情報駆動システム	コンピュータネットワーク特論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	英語対応：履修者の希望により、英語による授業、または英語による質疑応答への対応を可能とする科目。	工業
	コンピュータシミュレーション特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		工業
	最適化法特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業
	非線形制御特論(英語対応)	●	○	1	2	選	1・2	半期(前)		工業
	システムと信号特論(英語対応)	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業
	アドバンスドコントロール特論(英語対応)	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業
メカトロニクス	信号処理特論	○	●	1	2	選	1・2	半期(前)	情報駆動システム部門、メカトロニクス部門、ロボット・デザイン部門の科目から8単位以上必ず修得すること。	工業
	アドバンスドメカトロニクス特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		工業
	計測標準論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業
	インフォメーションインターフェース特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業
ロボット・デザイン	ロボットインターフェース特論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)		工業
	ロボットプランニング特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		工業
	アドバンスド・ロボティクス	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		工業
	エネルギー変換学特論		○	1	2	選	1・2	半期(前)		
	知能システム特論	●	○	1	2	選	1・2	半期(後)		工業
	ロボット設計特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		工業
専攻共通科目	産業別企業研究特論	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)	専攻共通科目部門の科目から2単位以上必ず修得すること。	
	プロジェクト型ワークショップ	○	○	2	2	選	1	半期(前)		
	インターンシップ	○	○	随時	2	選	1・2	随時		
	ITとビジネスモデルA	○	○	1	2	選	1・2	半期(前)		
	ITとビジネスモデルB	○	○	1	2	選	1・2	半期(後)		
「豊かな教養」科目	安全建築都市システム論	○		1	2	選	1・2	半期(後)	「豊かな教養」科目部門の科目から2単位以上必ず修得すること。	
	デジタル放送論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	公開科目	
	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	●	●	1	2	選	1・2	半期(前)	公開科目	
研究科共通科目	科学英語Ⅰ	○	○	集中	2	選	1・2	集中	コロラド大学英語短期研修 専攻主任が担当する	
	Practical English for Global Engineers	○	○	1	2	選	1	集中	1年生のみ履修可能	
	MOT 概論	●	●	1	2	選	1・2	半期(後)	e-campus 科目のため、理工学研究科授業時間に合わせて開講	
	融合技術戦略特論	○		1	2	選	1・2	半期(前)	「融合技術戦略特論」は、集中講義で開講	
	研究者倫理	○	○	1	2	選	1	半期(前)		

注1) 開講区分 「○●」=昼夜開講、「○」=昼間開講、「●」=夜間開講、「随時」=随時開講
 注2) 「公開科目」は、本学大学院生以外の一般社会人向けに受講生募集を行っている科目。

2019年度カリキュラム

ロボット・メカトロニクス学専攻 修士課程 カリキュラムマップ

		1年		2年				
		前期	後期	前期	後期			
専門性の涵養	専門研究	ロボット・メカトロニクス学特別研究Ⅰ①	4	ロボット・メカトロニクス学特別研究Ⅱ①	4			
		特別輪講ⅠA①	1	特別輪講ⅠB①	1			
	情報駆動システム	コンピュータシミュレーション特論	2	コンピュータネットワーク特論	2	コンピュータシミュレーション特論	2	
		非線形制御特論(英語対応)	2	最適化法特論	2	非線形制御特論(英語対応)	2	
				システムと信号特論(英語対応)	2	システムと信号特論(英語対応)	2	
	メカトロニクス	アドバンストメカトロニクス特論	2	アドバンストメカトロニクス特論	2	アドバンストメカトロニクス特論	2	
		信号処理特論	2	計測標準論	2	信号処理特論	2	
	ロボット・デザイン	ロボットプランニング特論	2	ロボットインターフェース特論	2	ロボットプランニング特論	2	
		アドバンスト・ロボティクス	2	知能システム特論	2	アドバンスト・ロボティクス	2	
		ロボット設計特論	2		エネルギー変換学特論	2		
キャリア形成	専攻共通科目	産業別企業研究特論	2	ITとビジネスモデルB	2	産業別企業研究特論	2	
		プロジェクト型ワークショップ	2			ITとビジネスモデルA	2	
	ITとビジネスモデルA	2						
	インターンシップ	2			インターンシップ	2		
学際性の涵養	「豊かな教養」科目	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	2	デジタル放送論	2	セキュリティインテリジェンスと心理・倫理・法	2	
		安全建築都市システム論	2					
国際性の涵養	研究科共通科目	科学英語Ⅰ(集中)		2	科学英語Ⅰ(集中)		2	
		Practical English for Global Engineers(集中)		2				
				MOT概論	2		MOT概論	2
		融合技術戦略特論(集中)	2					
倫理観の涵養	研究科共通科目	研究者倫理	2					

※2年次科目で、網掛けの科目は、1・2年配当、毎年開講科目

※①はリサーチワーク科目、それ以外はコースワーク科目。

研究指導教員等の専門分野と指導研究テーマ

《ロボット・メカトロニクス学専攻》

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
石川 潤 1号館 11014B (2615)	・ロボティクス ・制御工学	・ロボットの高機能モーションコントロール ・福祉・医療分野のメカトロニクス制御技術 ・ナノスケールの高速・高精度サーボ技術 ・人道目的の対人地雷探知・除去技術
岩瀬 将美 1号館 11002A (2618)	・情報駆動システム制御 ・制御工学 ・ロボティクス	・自動車エンジンなどの非線形システムのモデリングと制御 ・筋電位などの生体信号に基づく福祉機器の開発と制御 ・一輪車・自転車などの不安定なパーソナルビークルの制御系設計と応用 ・ヨーヨーなどの技能的ロボットの開発と制御 ・蛇型ロボットなどの環境適応型ロボットの開発と制御 ・制御工学に基づくマルチコプター、センサ杭など農林業・防災への応用
釜道 紀浩 1号館 11001B (2620)	・制御工学 ・ソフトメカニクス ・スマートマテリアル	・ソフトアクチュエータ/センサの開発 ・高分子素材のスマートセンサの開発 ・生物模倣ロボットの運動制御
汐月 哲夫 1号館 11016A (2614)	・情報化制御システム	・ネットワーク化制御システムの解析と設計 ・遠隔操作システムへの制御工学の応用 ・組込みシステムと実時間制御系設計 ・PID 制御系に関する研究 ・線形システムの解析と制御系設計
鈴木 聡 1号館 11013B (2616)	・システム制御 ・人間工学 ・ロボット工学	・子ども見守り AI 技術の研究 ・テレプレゼンスロボットの操作支援 ・VR シミュレータによる空間作業支援 ・脳・視線計測による興味・熟達・意図推定 ・熟達を考慮した人間システムモデリングと支援

新入生へ

学修案内

FMA

FMI

FMR

履修案内

生活案内

施設

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

キャンパス案内

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
中村 明生 1号館 11013A (2609)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット工学 ・コンピュータビジョン 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタフェース（情報投影提示型「どこでも」インタフェース） ・視覚障がい者支援（文字検出・認識／点字認識／屋内誘導） ・映像情報からの熟達度評価（サッカー・インサイドキック） ・その他（蚊の種族識別／信号機認識／外観情報に基づく人物解析／物体位置姿勢推定）
畠山 省四朗 1号館 11016B (2607)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報駆動システム知能化 	<ul style="list-style-type: none"> ・身体知システム工学 ・HAM（Human Adaptive Mechatronics） ・システム同定 ・制御システム工学 ・非線形制御
花崎 泉 1号館 11015B (2617)	<ul style="list-style-type: none"> ・信号処理 ・モデリング 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音訓練における視覚的支援法の開発 ・表情筋電位信号による口唇動作モデルの同定 ・独立成分分析による人間動作の「コツ」の抽出 ・杖歩行練習用歩行補助器の改善にむけた杖付き歩行の動作解析 ・下肢装具の足底部の違いによる歩行の分析
桧垣 博章 ☆ 1号館 11014A (2611)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報工学 ・コンピュータネットワーク 	<ul style="list-style-type: none"> ・アドホックネットワークのためのルーティング／データ配送プロトコル ・センサネットワーク／メッシュネットワーク構成手法 ・VANET（自動車を含む高速移動体からなる無線マルチホップネットワーク）基盤技術 ・高信頼ネットワークアプリケーション実行手法 ・WDM光ネットワークプロトコル ・分散オペレーティングシステム構成手法 ・分散アルゴリズム
藤川 太郎 1号館 11017A (2605)	<ul style="list-style-type: none"> ・ロボット工学 ・バイオミメティクス 	<ul style="list-style-type: none"> ・小型はばたきロボットの開発 ・滑空ヘビの飛行メカニズムの解明 ・水中ロボットの開発

教員氏名 居室 (内線電話番号)	専門分野	指導している主な研究テーマ
横山 智紀 1号館 11015A (2606)	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーエレクトロニクス ・メカトロニクス 	<ul style="list-style-type: none"> ・FPGAを用いた電力変換器の高速デジタル制御 ・マイクロマウスロボットの開発 ・DRP / FPGAによる次世代コントローラ開発 ・グリーンエネルギーシステム ・系統連系システムの開発 ・ユニバーサルパワーモジュールの開発

☆：専攻主任

※客員教授：篠田 義明

新入生へ

学修案内

F
M
A

F
M
I

F
M
R

履修案内

生活案内

施設

学則・規程

沿革

校歌・学生歌

キャンパス案内